



この町で、この地で笑って老いたい ～そのために今すべきこと～

【まち協だより】

令和7年5月号

電話(FAX) 82-0933

発行: 山上まちづくりの会事務局

【事務局】

山上カフェ はじめました

★日時 毎週金曜日 11時～15時

★場所 山上地域振興センター事務局内の応接スペース と 玄関スペース(土足で



お茶やコーヒー、お茶菓子などが無料で楽しめる山上カフェを山上地域振興センター内ではじめました。カフェはセルフサービスとなっています。今年の夏はクーラーの効いた部屋でお話を楽しみませんか。玄関スペースもカフェ休息場所として使えるようテーブルとイスをセットしています。※5月30日は自治協議会開催のため、「山上カフェ」はお休みします。

パソコン、スマートフォンの出張教室をはじめます

6月から土曜日、日曜日にパソコンやスマホのわからないことを教える出張教室をはじめます。家にあがらず、玄関先での指導もします。忘れても同じことを何度でも教えます。人生学園(文化センター)などの復習にもご利用ください。料金は無料。日時の調整をしますのご希望の方は毎週金曜までに、山上まちづくりの会事務局(82-0933)にご連絡ください。

グラウンド駐車場の仮設トイレを移動します

山上地域振興センターのグラウンド駐車場の仮設トイレ2基が経年劣化で壊れたため撤去し、新たに山上体育館入口軒下周辺に1基のトイレを設置します。撤去は合同環境作業の時、設置時期は未定です。ご理解と協力をお願いいたします。

【山上まちづくりの会 今後の予定】

5月30日(金) 18時30分～	合同部会・役員運営委員会
6月 8日(日) 8時30分～	合同環境作業(まち協・PTA・山の上分園)
6月15日(日) 8時30分～	ホテル鑑賞地草刈り

【にちなん十色 山の上分園から交流イベントのお知らせです】

6月16日(月)朝9時30分から、地域の皆さんと園児たちの交流イベントをします。水鉄砲遊びや散歩、川遊びなど天候に合わせてイベント内容を決めようと思います。参加希望の方は山の上分園82-1215まで連絡をください。お待ちしております。

【まち協からお知らせ】 イベントにあわせ、6月16日は「山上カフェ」を臨時オープンします。

心のよりどころにと、

「大正」植林を

16

岩雄は、早くから一大学園をつくることを夢にしていました。

その夢は、着々と実現しつつあります。

校地は、山を崩し谷をうずめて、年々広げられて、もとの何倍もの広さとなっています。そして、校地の中には、運動場あり、果樹園あり、野菜園あり、花壇あり、そして校舎もあり松蔭舎もあるその中で、先生も生徒も一緒にあって、働きながら学ぶのです。特に高学年の子ども達はいつでも作業のできる服装で、右手に農具を左手には書物をとという様子でした。

「晴耕雨読」というのは、晴れの日には外で働き、雨の日はいちで勉学に励むということですが、この「晴耕雨読」が岩雄の教育の方針でもありました。

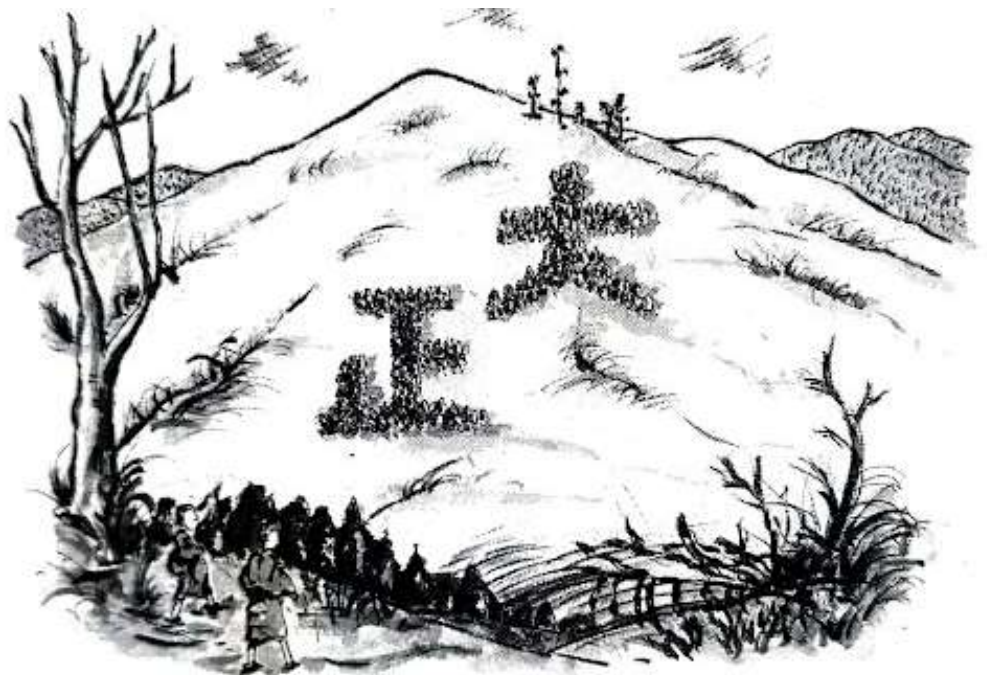
また、岩雄は広島高等師範学校から帰った時、「昼は子ども達を教え、夜は村の人たちを学ばせたい。」と、希望をのべていますが、その言葉の通り、村全体の意識を高めていきたいと考えていました。そして、そのためには、まずな

によりも村の人が心を一つに寄せることが大切であると考え、学校はもちろん、村のどこからでも見える高さ九一六メートルの大草山を村のシンボルとすることを思いつきました。

ちょうど世の中は明治から大正にかわったところでした。そこで、この山に杉の木を植え「大正」と二大文字をつくれば、村のしるしともなり、成人して村から出ていく卒業生のふるさとを思う心へつながる橋の役にもなるだろうと考えたのです。

でこぼこした山の斜面に「大正」の文字となるように杉を植えるのですから、なかなか大変な仕事でした。先生方と子ども達が中心になって、卒業生の応援を受けながら、山と村との両方から合図しながら測量し、ようやく、一辺が八十メートルの文字、二字を植林し終えることができました。

大正、昭和、平成そして令和とかわり山上村も伯南町となり、さらに日南町と変わっていききました。造林の杉はよく風雪に耐えて大木となり、百十年余りたった今、山上に帰って山を眺める人達は、「ああ、山上にかえったなあ。」と、ふるさとを思う心のよりどころとしています。



※補足説明

「大正」の文字はわかりにくくなっています
が、山が薄く雪化粧をした時、令和となつた現在でも文字が浮かびあがります。